

モーツァルト 光と影の交錯

講師 ピアニスト 久元 祐子

名作曲家であると同時に名ピアニストでもあった天才モーツァルト。その生涯と作品を1年かけてたどってきたシリーズ講座「モーツァルト 生涯と作品」。その締めくくりとして、モーツァルト晩年に作曲された曲を中心に演奏をお届けします。

楽譜にこめられたモーツァルトのメッセージを丹念によみととき、名演を重ねるピアニスト・久元祐子さんが、解説を交えながら演奏。35年間の人生で紡がれた作品の魅力に迫ります。

<取り上げる予定の曲目>

ロンド イ短調 K511

メヌエット ニ長調 K355

グラスハーモニカのためのアダージョ ハ長調 K356

ピアノ・ソナタ ハ長調 K545 ほか



©Katsuo Sakayori

<講師紹介>久元祐子 ひさもとゆうこ 東京芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。ウィーン・サロン・オーケストラ、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など、国内外のオーケストラや弦楽四重奏団と多数共演。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。ショパン生誕 200 年記念年には、全国各地でプレイエルによる演奏会を行い、大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011 年ウィーンでのリサイタルで好評を博し、バーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。2012 年、2014 年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され称賛された。国立音楽大学准教授、日本ラトビア音楽協会理事。これまでに CD10 作をリリースし「ハイドンとモーツァルト」「青春のモーツァルト」「ベートーヴェン”テレーゼ”ワルトシュタイン”」(以上、コジマ録音)は新聞や雑誌で絶賛される。著書に「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」(学研)、「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)「原典版で弾きたい! モーツァルトのピアノ・ソナタ」など。毎日 21 世紀賞特選受賞。久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

日時 2015年 8月22日(土) 13:00~14:30

受講料 会員 3,240 円 (入会金は 5,400 円。70 歳以上は入会無料、証明書が必要です。)

一般 3,888 円

*入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

※ ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。

※ 日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※ 講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

※ 個人情報は、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 新宿
朝日JTB・交流文化塾 | 新宿

〒163-0204 東京都新宿区西新宿 2-6-1
新宿住友ビル内 私書箱 22号
tel 03-3344-1945
<http://www.asahiculture.jp/shinjuku>